

# 先生も青年海外協力隊に参加できますか？

開発途上国の教育の向上のため、日本の先生たちが青年海外協力隊員として活躍している。

日本の学校教育現場での知識・経験を生かして協力隊に参加する「現職教員特別参加制度」を紹介する。

# JICA

## に聞きたい！



ネパールの小学校で、隊員の鍵盤ハーモニカの演奏に合わせて歌う子どもたち



ザンビアの教員養成校で、実験を取り入れた理科の授業の進め方を指導する理数科教師隊員

### PROFILE

国際政治を専攻していた大学時代、米国留学やインドでのNGOのインターンを経験し、開発問題に関心を持つ。2007年4月JICA入構。08年4月より現職。



早瀬竜也 JICA青年海外協力隊事務局

## 「先生の経験や技術が途上国で求められています」

**A** 自身の技術や知識を生かし、世界各地で活躍する青年海外協力隊。途上国からの派遣要請が最も多い教育分野では、学校現場の教員の数や質教育制度などが不十分なため、日本の先生たちの知識や経験が求められています。

JICAは2001年から、文部科学省、都道府県の教育委員会と協力し、公立学校・国立大学付属学校の教員が現職の身分を保持したまま協力隊に参加できる「現職教員特別参加制度」を取り入れています※1。

39歳以下で、現職教員として3年※2以上の経験を持つ心身共に健康な方が対象です。これまでに、小学校教諭、理数科教師、体育指導、養護などの分野を中心に、500人以上が途上国の教育現場に派遣されています。

期間は、派遣前訓練を含めて2年間。学年の区切りをまたがずに、帰国後すぐに職場復帰できます。また、1次選考での技術試験が免除されています。派遣先では、授業をするだけでなく、教員の育成や指導法の確立、教材開発など、日本で培った経験・能力を生かした幅広い支援が求められています。所属する日本の学校に活動の様子を伝えたり、交流事業を始めたりのりする方も多いです。

帰国して職場復帰した先生からは、「途上国の現場を知り、日本の教育を見つめ直すことができた」「子どもたちへの接し方にゆとりができた」といった声が寄せられています。総

### 青年海外協力隊 現職教員特別参加制度 2009年度春募集のスケジュール



<http://www.jica.go.jp/>  
青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの募集情報もこちらから！

3月中旬～下旬：JICAホームページに要請案件リスト、必要応募書類を掲載。各都道府県教育委員会の定める規定に従い、応募書類を提出。

7月：二次選考（個人面接、健康診断など）

8月：最終合否通知

2010年4～6月：派遣前訓練

6月～2012年3月：現地派遣

問い合わせ：JICA青年海外協力隊事務局ボランティア参加促進課

TEL：03-5218-3067

Email：jvtp@jica.go.jp

合的な学習の時間などで国際理解教育を行ったたり、さまざまな場で途上国での経験が生かされています。

協力隊に参加した先生が自らの体験を伝えることで、子どもたちが世界に目を向け、つながりを実感できる機会がもっと増えてほしいと思います。皆さんの情熱、技術が必要とされています。ぜひご応募ください。

※1 中南米地域の日系社会で活動する「日系社会青年ボランティア」も対象に含む。  
※2 教育委員会または国立大学法人によって条件が異なる場合がある。詳細は、所属の教育委員会または国立大学法人へ。